



# 精華地域学校規模適正化検討協議会ニュース

第7号

平成27年1月  
教育政策課

第7回協議会が1月7日(水)に開催されました。

## 自治会長の改選に伴う委員の継続について

本協議会の委員を設置要項第3条に基づき、地域住民の代表として各町の自治会長にお願いしていましたが、1月から2月にかけて自治会長の改選が行われ、交代される自治会長がおります。しかし、引き続き、現在の委員の皆様をお願いすることを赤井会長よりご確認いただきました。

## 統合小学校の校名、校章、校歌について(市教育委員会事務局より)

校名、校章、校歌について、改めて、市教育委員会事務局として、「校名は帯解小学校として、校章、校歌は新しく制定していく」という方針をお伝えしました。子どもたちの教育環境を整えていくことを第一に考えると、統合再編については、6、7年前に後戻りすることも、また、本年4月の統合をこれ以上先延ばしにすることもできないと考えています。精華という校名については、地域の皆様方のたいへん強い思いがあり、精華地域の委員の皆様方のご納得いただく調整はできませんでしたが、1月15日の定例教育委員会の中で審議して、その後、1月28日の法令審査会を経て、3月議会に上程していくという、決められた手続きにのっとり進めていかないことには、平成27年4月の統合にはなっていないということもあり、そこに向けて進めさせていただきたいと思えます。

校名は「帯解小学校」として、統合再編をさせていただきますが、帯解小学校への吸収合併ではなく、2校が対等に統合再編していくということで進めてまいりました。また、今後もそのように進めてまいりたいと考えています。統合再編後につきましても、精華地区が帯解地区に含まれてしまうということではなく、新しく統合再編される小学校は、校区に精華地区と帯解地区がある小学校になっていくと捉えています。

校章、校歌については、「新たに制定していく」ということで進めさせていただきます。精華小学校、帯解小学校の両校長先生方を中心として募集、選定を行い、事務局も関わらせていただきながら、進めてまいりたいと思えます。具体的には、校章、校歌(作詞)は公募を行い、校歌(作曲)は専門家に依頼をいたします。

協議会では、このことを受け、裏面にあるご意見やご質問をいただき、最後に赤井会長が次のようにまとめられました。

「校名について、精華地域の協議会としては、新しい名前にするか、帯解精華小学校にするか、この2つの案以外でまとめることはできません。この協議会では、事務局案には反対ということで締めくくりたい。」

※ 教育委員会としては、精華地域の子どもたちの教育環境を整えていくことを第一に考え、4月からの統合再編に向け、校名については「帯解小学校」として冒頭申し上げた手順で進めさせていただくことを説明しました。

## 次のご意見やご質問をいただきました。(概要)

(→市教育委員会事務局からの回答)

- 精華の名前はなくなるということなのか。  
→精華小学校と帯解小学校が1つになり、統合する学校の名称は帯解小学校となるということです。結果的に、統合する学校の名称に精華という名称は用いられなくなります。
- 今の財政状況考えたら統合するのは仕方がない。しかし、精華小学校の140年の歴史の魂を無視したような考え方をもって統合するというのは絶対反対です。
- 精華小学校になろうが、帯解小学校になろうが、この地区に住んでいることを誇りにしたいと思うので、帯解小学校という名前のところへ喜んで行かせたいと思う。
- この学校規模適正化検討協議会は、校名を決める会議ではないと思う。校名だけを決めるための協議会の会議になっている。学校規模適正化というのは、子どもたちのためではないのか。
- 校名というのを教育委員会の方は何か軽く考えている。校名を帯解にするのは絶対承認できないし、地域の人にも説明できない。
- 11月17日開催の協議会で、精華地域としては、帯解精華小学校という校名を帯解地域の協議会に提案してもらおうということだったが、それはどうなったのか。  
→11月22日に開催された帯解地域の協議会で、精華地域から帯解精華小学校という新しい校名と、4月以降の検討の継続について、提案いただいたことをお知らせしています。しかし、帯解地域の協議としては、事務局案である「校名は帯解小学校とする、校章、校歌については新しく制定していく」という内容で合意いただくことになりました。
- 校名については統合した後でも帯解と協議を続けていきたい。
- 4月からということだが、1年延ばし、もう一度議論したらいい。これだけ話し合っているのだから、喜んでいくことができる方がいい。日がないということだが、1年後ならある。
- 学校に行くのは、私たち子どもである。卒業生よりもこれから行かせる私たち子どものことを考えてほしい。
- 来年1年生になる子の保護者は、入学準備ができない。3月決定では遅すぎる。
- 学校を統合再編して進めていく、一番の目的は子どもらのためである。
- 今回の統合再編に対しては、市からスクールバスのお話をしてくれている。保護者にとっては助かることである。
- 今年の4月に統合再編することは、満場一致で決まっている。校名だけが精華地域の思いが反映されていない。教育委員会は「これで進める」と言っている。このことを止めると誰も言っていないと思うが、校名については納得していない。地元の思いを無視していることだけはわかった上で進めてほしい。  
→地域の思いを昨年から何度も聞かせていただきながら、校名についてはその思いをくみ取ることができなかったことについては、たいへん申し訳なく思っております。この4月からの統合再編に向けて、子どもたちの教育環境を整えていくことを第一に考え、校名については冒頭申し上げた手順で進めさせていただきます。

第8回学校規模適正化検討協議会は、  
の開催日時については、改めて後日お  
知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先  
奈良市教育委員会事務局教育政策課  
TEL 34-5386